

人もあります、

(以下次號)

## 讀書につきて (承前)

### 牧 羊

前號に於ては、書籍を讀むことの利益を列舉して見たが、本號では更に進んで讀書の注意といふことに書き及ばさうと考へる。

現今の社會は丸で書籍の社會である、新刊書の廣告に顯はるゝもの日々數へ盡す能はず。實に現今の世界は書籍を以て充滿して居る。然し詳に觀察する時は更に一讀の價值だも有せざる惡書籍も亦數へ盡されない程あることは事實である。次に又極めて一時的の出版物がある。其時には極めて有益であつたかも知れないが、其年なり月なり

を經過し去つて、或は又其出來事が消滅してからは、一向價值を持たない書籍である。或は又特殊専門の書籍がある。即ち特殊専門の學術を研究せんか爲に、又は或る特別の目的を有する人には極めて必要であるが、夫れ以外の人が見ては、讀んで興味もなければ利益を得る所もない。

故に書籍に依つて、自家の智見を進めんと欲する人は徐ろに汗牛充棟書ならぬ書籍の中で、其最も適當せるものを選択することが、頗る必要である。書籍の選擇、これ實に讀書家の力むべき第一要件である。

次に或書物を得て、さて之を讀下しようといふ時に當つて、先づ其書籍を概觀することが必要である。即ち一々精讀するに先だつて、先づ著者の緒言とが序文とか若くは目錄とかを一通りブラー

つと概観することに依りて、吾人は著者の意見を先づ洞察することを得る所からして、大に其書籍の理解を容易くするといふ便がある。抑々亦緒言なり序文なりはいはい人の家の玄關の様なものであるからして、其書物を讀む時に當つて之を脱かして行くといふ事は例令は案内を乞はずに人の家に飛び込む様なものであるから、這入つてからは非マゴ付かざるを得ない譯である。夫から又、例令其中に困難な字句で了解し難い所があつたからといつて、其度毎に必らず一々骨を折つて夫を解釋せんが爲めに、行き留つて居るといふことは頗る損な次第である。だんく先きを讀んで行くに従つて、自ら其意義が氷解せられる事もあり。且つは、讀書百遍義自通焉で、再讀三讀する中に獨り手に理解せられる。尙一つ必要な事は讀んで

行く中に、若し目新しい面白い必要な章句に出遭つた時は、是非其處に印標を施して行くことである、これは大に他日參考の便宜になり、又再讀する時の便宜にもなるし、且つ大に記憶をも助ける方便となるものである。

道德學上哲學上等の書物を讀むに當つては又、たい著者の説なり意見なりを知らんとすることばかりが能でない。これだけではたい誰がどういつたとか、誰の説はどうだとかいふ歴史的の智識を得るに過ぎない。然し吾人の讀書に付きての主要の職分といふものは寧ろ著者の説なり意見なりが果して當を得たものだか否かを考究して、著者の意見に由りて其問題に關する吾人の精確なる智識を進歩發達せしめることであらねばならぬ。吾人が讀書に由りて東西古今の古士と自由に交際談論

することが出来るといふのは實に、此の如くにして始めて得られる次第である。たい何かなしに書物に書いてあつたからといって信じて仕舞ふのは殊に今日の世の中最も注意せねばならぬ。彼も人なり吾も人なり、たい何も平にも著者の意見に盲従して仕舞ふでは、吾の價値は零だといはねばならぬ。

夫から讀みもて行く中に書物の不都合な點があつたならば、是非とも夫を見逃さないで、其書物の中にでも或は他の筆記帳にでも夫に對する自分の正當な意見を書き附けて置くことが必要である或は又書物の全體の順序排列なども自分の意に滿たぬものがあつた時は、夫を自分の考で直して書いて置くことなど、何れも自家の思想を整頓し論理的精確を得る所の方法である。

書物の附録を作ること、これ亦必要なる方法である。讀んで見て必要なと思ふ點を抜粹して一の附録に造り以て自家の復習若くは記憶の便に供するので、最初は頗る面倒であり苦痛を感じるけれども、他日の利益は夫を償つて餘がある、且つ同種類の他の書籍を讀む時に當つては、之に由つて大に理解を助ける、何故かといふに、如何ほど價値ある書籍だからといって、そうく違つた事實は記載して居るものでないからである。

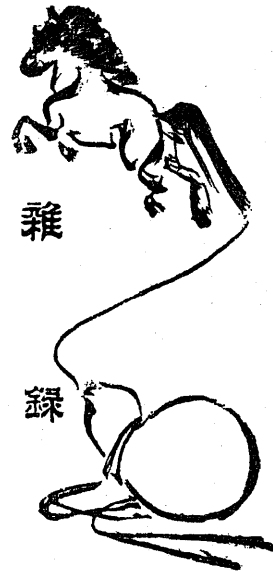
但し書物の食場に向つては十分の注意を要する世の中には終日讀書に耽つて、併も其智力に何程の進歩をも來さない人がある。これは要するに、書物を讀むことを好むけれども、併も其中にある眞理を坪量しない人達である。彼輩の眼は、たい空に紙面を走つて居るのである。或は言葉が彼輩

の耳邊を掠の去つて居るのである。落語を聞いてア、面白かつたと思ふと同時に消え失するが如く若くは夏の雨後の紅兒の天と同じ様に。會々之を消滅せしめない所の人達は、随分之が記憶に力める、そして博學の名を捕へんことを考へる。併も彼等は恰も食ひ續けに食つて消化器を害した人の如き、夫である。要するに、たい智識の容量をのみ増加しやうとしないで、精確なる智力を増進せやうとしないからである。

(未完)

Wie Man's treibt, so geht es.

力むる所に方法あり



雑

録

保育要項

女子高等師範學校  
附屬幼稚園

明治三十三年文部省令第十四號小學校令施行規則に基づき女子高等師範學校附屬幼稚園に於ける保育の要項を定むること左の如し。

### 第一組 組織

當園は年齢満三歳以上小學校に入學するまでの幼児を収容する所にして分ちて本園及分室の二とす。

本園に於ては完全なる保育の理論に則り經濟の許す限り一切の組織設備を完成し其他の方便をして